学校番号	１２０１

令和　５年度　家庭科

教科	家庭	科目	被服応用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習への参加の仕方や態度（関心・意欲・態度）によって評価します。
・製作の基本的な知識を技術に加え、独自のアイディアや工夫をしましょう。
・作る楽しみを感じましょう。

2　学習の到達目標

衣生活を裕に楽しく変化に富んだものにするために、各人が個性的な「手作り」のよさを見直し、作る楽しさを生活に取り入れる。また自分らしさを表現する楽しさを感じる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	手芸の構成・材料・製作について関心を持ち、家庭生活の充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、創造的に製作する態度を身につけている。	手芸の構成・材料および製作に関して、自分の嗜好との関連を見つけることができる。 目的に応じてどのような材料・デザインを選択するか判断しながら製作する力を身につけている。	実習を通じて、技能を修得し、デザインや材料の選択に関し創意・工夫することができる。 能率的に製作を行う技能があり、個人の創意・工夫を表現できる。	手芸の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、創造的に製作するために必要な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 作品の提出 自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 作品の提出 自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 作品の提出 自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 作品の提出 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ミシンの基礎を学ぶ	・ミシンの特徴と扱い方 ・ミシンの小テスト ・ミシンを使った作品作り 作品の提出と相互評価	○ ○	○ ○	○	○ ○	a：ミシンについて関心を持ち、その特徴について積極的に学び、作品作りに取り組もうとしている。 b：ミシンの特徴を理解し、ミシン操作を適切に判断し、作品を製作することができる。 c：ミシンの特徴を理解し、適切に操作ができる。 d：ミシンの特徴を理解し、操作方法や適切な扱い方について理解している。	授業観察 ワークシート 実習記録 実習観察 レポート 作品提出
	生地を知る	・生地の種類と適性を学ぶ ・生地に適した糸の種類を学ぶ ・テディベア作り ・半返し縫いの練習 ・コの字閉じの練習 ・サテンステッチ	○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a：生地や糸について関心を持ち、その特徴について積極的に学び、作品作りに取り組もうとしている。 b：テディベアの表情や柄などを工夫することができる。 c：手縫いの応用的技術を習得し、製作に生かすことができる。 d：用途に応じた手縫いの技法を理解する。	授業観察 ワークシート 実習記録 実習観察 レポート 作品提出
2学期	袋物を作る	・裏地付袋の縫い方 ・マチの付け方 ・柄として、抜きキャンパスを使ったクロスステッチ	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	○ ○	a：裏地の特徴や袋の構成について積極的に学び、作品作りに取り組もうとしている。 b：用途にあった大きさ、マチの有無を決定し、適切な長さで布を裁断できる。 c：ミシンの応用的技術を習得し、製作に生かすことができる。 d：手縫いとミシンを、用途に応じて使い分けることを理解する。	授業観察 ワークシート 実習記録 実習観察 レポート 作品提出

	かぎ編み作品	・かぎ針編みの基本 ・編みぐるみ製作 ・毛糸の使い方 ・かぎ針の持ち方 ・鎖編み ・長編み	○		○ ○	○ ○ ○ ○	a：かぎ編みの基礎について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：自分の進度に合わせて完成品を選択できる。 c：かぎ針の基礎的技術を習得し、製作に生かすことができる。 d：かぎ針編みの基礎（鎖編み・長編み）を理解する。	授業観察 ワークシート 実習記録 実習観察 レポート 作品提出
3学期	折り染め作品	・折り染め ・しおり作り ・オリジナルクリアファイル作り ・染料の原料を学ぶ ・染料の扱いを学ぶ	○	○	○	○	a：折り染めの基礎について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：折り染めの技法とその特徴について理解することができる。 c：折り染めについて、基礎的技術を習得し、製作に生かすことができる。 d：折り染めの特徴について理解し、その知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 実習記録 実習観察 レポート 作品提出

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。